

東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画

平成30年度実績報告書

東村山市

目 次

はじめに	1
施策の体系	2
平成30年度の取り組み状況	
1. 発生抑制・排出抑制、再使用の推進	
(1) 発生抑制・排出抑制に関する取り組み	
① 食品ロス削減の取り組みの推進	3
② 生ごみの水切りの促進	3
③ 生ごみの自家処理の促進	4
④ 集団資源回収の推進	4
⑤ レジ袋の削減	4
⑥ リサイクルショップ活動の拡充	5
⑦ ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者の紹介	5
⑧ 事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化	5
⑨ 事業系ごみ(民間収集分)の排出指導	6
⑩ 事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督	6
⑪ 店頭回収の拡大(店頭回収)	6
⑫ 店頭回収の拡大(自動販売機脇回収ボックス)	7
(2) 再使用に関する取り組み	
① フリーマーケット、不用品交換の推進(フリーマーケット)	7
① フリーマーケット、不用品交換の推進(不用品交換)	8
② 家具等の再使用の促進	8
2. 合理的な収集と資源化の推進	
(1) 合理的な収集に関する取り組み	
① 円滑な収集・運搬の推進	9
② 資源物の持ち去り防止対策の推進	9
③ 高齢者等みまもり収集の継続実施	9
(2) 資源化の推進に関する取り組み	
① 生ごみの資源化の推進	10
② 使用済小型家電の資源化の推進	10
3. 安全で確実な処理体制の構築	
(1) 安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み	
① 施設の維持・整備の推進	11
② 焼却灰のエコセメント化の継続	11
③ ごみ処理施設更新の検討	11
④ 災害発生時の対応に向けた取り組みの推進	12
4. 情報提供や環境学習の充実	
(1) 情報提供や環境学習の充実に関する取り組み	
① 啓発活動の推進	13
② 講座・学習・イベントの推進	13
③ 集合住宅の排出指導強化	13
④ 学校への出前授業等の実施	14
5. 市民・事業者との協働	
(1) 市民・事業者との協働に関する取り組み	
① 廃棄物減量等推進員の活動推進	15
② 市民組織への支援と協働及び連携の推進	15
③ 市民・事業者との協働の推進	16

はじめに

本報告書は、平成 30 年度東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画の実施状況を取りまとめたものです。

東村山市では、平成 23 年度から令和 2 年度までの 10 年間を計画期間とする東村山市一般廃棄物処理基本計画を策定し、『低炭素や効率性に配慮した循環型社会の実現』を基本理念として、五つの基本方針に沿って 29 の施策を体系化しています。

これら 29 施策の具体的な取り組み内容や、10 年後の数値目標に向けた各年度のステップを取りまとめたものが東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画であり、進捗状況や社会背景の変化などを組み入れながら、毎年見直しをしていきます。

施策の体系

	基本方針	施策		
排出抑制計画	1.発生抑制・排出抑制、再使用の推進	(1)発生抑制・排出抑制に関する取り組み		
		① 食品ロス削減の取り組みの推進		
		② 生ごみの水切りの促進		
		③ 生ごみの自家処理の促進		
		④ 集団資源回収の推進		
		⑤ レジ袋の削減		
		⑥ リサイクルショップ活動の拡充		
		⑦ ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者の紹介		
		⑧ 事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化		
		⑨ 事業系ごみ(民間収集分)の排出指導		
		⑩ 事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督		
⑪ 店頭回収の拡大				
収集・運搬計画	2.合理的な収集と資源化の推進	(2)再使用に関する取り組み		
		① フリーマーケット、不用品交換の推進		
		② 家具等の再使用の促進		
		(1)合理的な収集に関する取り組み		
		① 円滑な収集・運搬の推進		
		② 資源物の持ち去り防止対策の推進		
		③ 高齢者等みまもり収集の継続実施		
		(2)資源化の推進に関する取り組み		
		① 生ごみの資源化の推進		
		② 使用済小型家電の資源化の推進		
		(3)分別区分と収集方法		
処理・処分計画	3.安全で確実な処理体制の構築	(1)安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み		
		① 施設の維持・整備の推進		
		② 焼却灰のエコセメント化の継続		
		③ ごみ処理施設更新の検討		
		④ 災害発生時の対応に向けた取り組みの推進		
		(2)処理・再利用の流れ		
		4.情報提供や環境学習の充実	4.情報提供や環境学習の充実	(1)情報提供や環境学習の充実に関する取り組み
				① 啓発活動の推進
				② 講座・学習・イベントの推進
				③ 集合住宅の排出指導強化
				④ 学校へのお出前授業等の実施
5.市民・事業者との協働	5.市民・事業者との協働			(1)市民・事業者との協働に関する取り組み
				① 廃棄物減量等推進員の活動推進
				② 市民組織への支援と協働及び連携の推進
				③ 市民・事業者との協働の推進

平成 30 年度の取り組み状況

基本方針 1 発生抑制・排出抑制、再使用の推進

(1) 発生抑制・排出抑制に関する取り組み

①食品ロス削減の取り組みの推進

今後の施策展開	まだ食べられる状態であるにもかかわらず廃棄されてしまう食品ロスを削減するため、啓発活動を行うとともに、関係団体の協力を得ながら、削減に向けた取り組みを推進していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減のリーフレットをイベントで配布し啓発を行った。 ・卓上三角柱POPを作成し、事業者向けの啓発ポスターと併せて商工会及び市内飲食店に配布し掲示の依頼をした。 ・小学校の施設見学や出前授業等において啓発を行った。 ・イベント時にフードドライブを5回実施した。 ・ホームページの掲載内容の更なる充実を図った。 ・市報、啓発紙「ごみ見聞録」に記事を掲載し、情報提供及び啓発を行った。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

②生ごみの水切りの促進

今後の施策展開	生ごみの水分量を減らすことは、ごみの減量につながるため、水切りを促進していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夢ハウスまつり、リサイクルフェア、夢ハウス 20 周年記念イベント、市民産業まつりで啓発を行った。 ・小学校での出前授業、公共施設等での出前講座で啓発を行った。 ・ホームページで啓発を行った。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

③生ごみの自家処理の促進

今後の施策展開	生ごみ減量化容器購入補助制度の周知方法を見直し、手法等の紹介を含めて、より効果的な普及啓発を進め、生ごみを家庭菜園やガーデニング等で利用する自家処理を促進し、ごみの減量を進めていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東村山花と野菜の会の協力を得て、リサイクルフェア、夢ハウス20周年記念イベント、市民産業まつりで啓発を行った。 ・スーパーでの店頭説明会や、公共施設等での出前講座で啓発を行った。 ・ホームページで情報提供を行った。 ・東村山花と野菜の会の協力により、美住リサイクルショップにおいて、生ごみ堆肥化相談を月1回実施した。 ・自治会へ啓発チラシを配布し、減量化容器補助制度の周知及び自家処理実施の呼びかけを行った。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
生ごみ減量化容器の補助台数	120基	30基	25.0%	1,200基(累計)

④集団資源回収の推進

今後の施策展開	新聞等の古紙回収については、新聞販売店での回収も定着しているなど、回収量の増加は困難性があるが、宅地開発や新築マンションなども含めて新たな団体の発掘を行うことで集団資源回収を推進し、地域コミュニティの活性化を図っていくとともに、回収品目追加について検討を進めていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未登録の自治会、団体への参加依頼を行った。 ・新しくマンション開発や宅地開発をする事業者にチラシを配布し、参加の呼びかけを行った。 ・夢ハウスまつり、リサイクルフェア、市民産業まつり等のイベントで啓発を行った。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
集団資源回収参加団体数	146団体	144団体	98.6%	150団体

⑤レジ袋の削減

今後の施策展開	市民意識が高く、レジ袋を辞退する率も高いことから、スーパー等の値引きやポイント付与、購入時の声かけなどレジ袋の削減に向けた積極的な取り組みの継続を働きかけていくとともに、ドラッグストアや小売店舗等の未実施店への拡大も図っていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発ポスターの内容充実を図り、配布及び掲示依頼を行った。 ・夢ハウスまつり、リサイクルフェア、市民産業まつり等のイベントで啓発を行った。 ・ホームページで、レジ袋削減協力店舗を紹介した。 ・未実施店舗への協力依頼を行い、レジ袋削減協力店舗数が増となった。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
協力店舗数	31店舗	30店舗	96.8%	33店舗

⑥リサイクルショップ活動の充実

今後の施策展開	リサイクルショップ利用者増に向け継続事業の充実を図るとともに、新たな事業展開を考えていく。また、新規事業については市民に関心をもってもらえるような魅力あるイベントを計画していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美住リサイクルショップで開催する講習会参加者に、ニーズ把握のためのアンケートを実施した。 ・「夢ハウスだより」を発行し、美住リサイクルショップ活動の周知を行った。 ・美住リサイクルショップの活動や不用品交換情報が掲載された「夢ハウス予定表」を発行し、市内公共施設で配布した。 ・美住リサイクルショップ創立20周年を迎え、リサイクルコンテスト、各種記念イベント、講演会等の様々なイベントを企画・実施した。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
リサイクルショップ 入館者数	25,000人	24,124人	96.5%	25,000人

⑦ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者の紹介

今後の施策展開	「ごみ見聞録」をはじめとする広報紙やホームページを通じて、簡易包装やレジ袋削減等に積極的な取り組みを行っている事業者の紹介やリストの公表を行い、取り組みの全市的な波及効果をねらっていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な取り組みを行っている事業者の情報収集を行った。 ・ホームページや啓発紙「ごみ見聞録」に積極的な取り組みを行っている事業者を紹介した。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑧事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化

今後の施策展開	少量排出事業者の排出するごみが家庭系ごみに混入しないよう、指導を継続していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・秋津町の排出事業所調査を行った。 ・家庭系ごみ袋で排出を行っている事業者に対して、事業系ごみ袋で排出するよう指導を行った。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑨事業系ごみ(民間収集分)の排出指導

今後の施策展開	民間収集運搬業者抜き打ち検査の実施等により、排出事業者の分別、減量化および資源化を促進するとともに、受入対象外のごみや、他市のごみを搬入する等の不適切な搬入を防止していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民間収集運搬業者が秋水園に搬入するごみに対し、抜き打ち検査を実施した。 ・抜き打ち検査で受け入れ対象外のごみの混入を確認したものについて、民間収集運搬業者と排出事業者に対して指導を行った。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
検査回数	20 回	20 回	100.0%	20 回

⑩事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督

今後の施策展開	事業用大規模建築物における廃棄物の減量及び再利用に関する計画書の提出により実態把握を行うなかで、発生抑制、排出抑制の推進等について、指導・監督を強化していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者から廃棄物の減量及び再利用に関する計画書を提出させ、内容確認を行った。 ・事業所の現地調査を実施し、分別・排出方法や保管方法について改善するよう依頼した。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑪店頭回収の拡大(店頭回収)

今後の施策展開	市民の多様な生活様式に対応するためにも、白色トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど店頭回収されている品目のうち未実施品目の追加や新たな品目の追加を、スーパー等に働きかけていく。また、自動販売機脇の回収ボックス設置の拡大を働きかけていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや啓発紙「ごみ見聞録」で店頭回収実施店舗の紹介、及び店頭回収利用の呼びかけを行った。 ・店頭回収未実施店舗へ協力依頼を行った。 ・夢ハウスまつり、リサイクルフェアで啓発を行い、店頭回収の利用を働きかけた。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
店頭回収 実施店舗数	36 店舗	30 店舗	83.3%	40 店舗

⑪店頭回収の拡大(自動販売機脇回収ボックス)

今後の施策展開	市民の多様な生活様式に対応するためにも、白色トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど店頭回収されている品目のうち未実施品目の追加や新たな品目の追加を、スーパー等に働きかけていく。また、自動販売機脇の回収ボックス設置の拡大を働きかけていく。			
主な取り組み内容	・自動販売機脇回収ボックスの設置状況の調査を行い、設置数増となった。			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 29 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
自動販売機脇回収 ボックス設置率	86.0%	86.1% ※1	—	87.0%

※1 隔年で調査を行っているため、実績値は平成 29 年 6 月調査実施時点のもの。

(2)再使用に関する取り組み

①フリーマーケット、不用品交換の推進(フリーマーケット)

今後の施策展開	フリーマーケットは市民のリユースの場として定着しているが、その効果を十分に把握し、充実・発展を図っていく。			
主な取り組み内容	・フリーマーケット実施時に出店者にアンケートを行い内容改善の参考とした。			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
市内全体のフリーマ ーケット開催回数	12 回	13 回	108.3%	12 回

①フリーマーケット、不用品交換の推進(不用品交換)

今後の施策展開	「とんぼ市」に関しては、事業を効果的に周知することにより市民認知の拡大を図るとともに、管理運用を徹底することで、市民にとって参加しやすく、また安心して活用できる場として提供していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを毎週更新し、とんぼ市の最新情報の提供を行った。 ・ 「夢ハウスだより」に物品リストを掲載し、情報提供を行った。 ・ ごみ分別アプリのお知らせ欄で、情報提供を行った。 ・ 夢ハウスまつり、リサイクルフェア、市民産業まつりで事業紹介看板の設置やチラシの配布を行い、利用の呼びかけを行った。 ・ 市公共施設に物品リストを掲示し、情報提供を行った。 ・ 毎月、とんぼ市や美住リサイクルショップの活動を掲載した「夢ハウス予定表」を発行し、市内公共施設で配布した。 ・ とんぼ市物品提供者に対して、可能な限り写真を提供して頂くようお願いした。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
とんぼ市不用品 交換成立件数	200 件	56 件	28.0%	200 件

②家具等の再使用の促進

今後の施策展開	粗大ごみのうち再使用が可能な家具等については、引き抜きおよび修繕の実施により、美住リサイクルショップにおいて販売する家具類を十分に確保し、再使用の促進につなげていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生家具類の引き抜き強化を継続して実施し、美住リサイクルショップで販売を行った。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

基本方針2 合理的な収集と資源化の推進

(1) 合理的な収集に関する取り組み

①円滑な収集・運搬の推進

今後の施策展開	引き続き円滑で効率的な収集・運搬を行っていくよう委託事業者に指導を行っていく。あわせて安全運転の励行、温室効果ガスの低減に配慮したアイドリングストップや車両の導入等の協力を求めていく。			
主な取り組み内容	・収集委託事業者との連絡会議で、ごみ収集車の安全運転の周知や収集運搬に関する意見交換等を行った。			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

②資源物の持ち去り防止対策の推進

今後の施策展開	近年発生している資源物の持ち去り行為に対しては、廃棄物減量等推進員や委託事業者と協力して行っているパトロールの実施に加え、GPSによる追跡調査等の持ち去り防止対策を実施することで、適正な資源回収を図っていく。			
主な取り組み内容	・廃棄物減量等推進員や収集委託事業者の協力を得て、パトロールを実施した。 ・ホームページで取り組みについての周知を行った。 ・収集委託事業者と協働してGPSによる追跡調査を実施した。			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

③高齢者等みまもり収集の継続実施

今後の施策展開	だれもが今後も住みなれた地域で安心して生活することができるよう、委託事業者の協力を得て、高齢者等みまもり収集を継続して実施する。			
主な取り組み内容	・収集委託事業者の協力を得ながら、高齢者等みまもり収集を継続して実施した。 ・関係所管と連携して、実施状況を把握した。収集委託事業者から通報のあった案件のうち、死亡等の重篤な状況はなかった。			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

(2) 資源化の推進に関する取り組み

① 生ごみの資源化の推進

今後の施策展開	生ごみ集団回収事業を通じて生ごみの資源化を進めることとし、参加世帯数の伸び悩み等に対しては、事業を効果的に周知することにより、継続して取り組んでいく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、市報、「ごみ見聞録」で事業の周知を行った。 ・ リサイクルフェア、夢ハウス20周年記念イベント、市民産業まつりで情報提供を行った。 ・ 生ごみ集団回収事業参加者へのアンケートを実施し、事業のあり方の検討を進めた。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
生ごみ集団回収 参加世帯数	380 世帯	134 世帯	35.3%	500 世帯

(2) 資源化の推進に関する取り組み

② 使用済小型家電の資源化の推進

今後の施策展開	貴金属やレアメタルなどの有用金属の資源化を図るため、拠点回収等による使用済小型家電の資源化の取り組みを推進していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、啓発紙「ごみ見聞録」、「ごみ・資源収集カレンダー」で情報提供、啓発を行った。 ・ 夢ハウスまつり、リサイクルフェアで、回収ボックスを設置してイベント回収を実施した。 ・ 秋津公民館、市民スポーツセンターに回収ボックスを設置した。 ・ ころころの森に携帯電話専用小型簡易型回収ボックスを設置した。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

基本方針3 安全で確実な処理体制の構築

(1) 安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み

①施設の維持・整備の推進

今後の施策展開	定期点検及び必要な維持補修、整備の実施により、引き続き安全で確実な処理を行っていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ焼却施設、リサイクルセンター、し尿希釈投入施設の点検・補修、消耗部品の交換等を実施した。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

②焼却灰のエコセメント化の継続

今後の施策展開	焼却灰については引き続きエコセメント化事業により、資源化を推進していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東京たま広域資源循環組合の焼却残渣受入基準を遵守し、エコセメント化施設へ搬入した。 ・焼却残さの放射性物質濃度の測定を実施し、基準を大幅に下回る水準であることを確認した。 ・測定結果をホームページに掲載するとともに、東京たま広域資源循環組合へ報告した。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

③ごみ処理施設更新の検討

今後の施策展開	周辺環境などに配慮し、既存施設の現状を把握しながら、自区内での処理あるいは広域化も含め、市民とともに検討を行い、将来にわたって安定したごみ処理を行うための取り組みを進めていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内検討組織を設置し、ごみ処理施設のあり方検討会の最終報告書を参考として、市の考え方を整理した。 ・市民意見交換会を全10回、出張意見交換会を適宜実施し、現時点における市の考え方についてのご意見をいただいた。 ・リサイクルフェア、市民産業まつり、環境フェアでパネル展示及びアンケート等によりご意見をいただいた。 ・ホームページ、ごみ分別アプリ、啓発紙「ごみ見聞録」等で、市民意見交換会等についての情報提供を行った。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

④災害発生時の対応に向けた取り組みの推進

今後の施策展開	災害発生時に大量に発生する廃棄物を適正に処理し、衛生環境の確保を迅速に図るため、あらかじめ災害発生時の廃棄物処理マニュアルを作成するなど、災害発生時に向けた取り組みを推進していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 に参加し、直近の大規模災害時における対応等について情報収集した。 ・国、都、他自治体の取り組み等を参考に検討を進め、廃棄物減量等推進審議会でのご審議、パブリックコメント実施によりご意見をいただきながら、災害廃棄物処理計画を策定した。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし	/	/	/	/

基本方針4 情報提供や環境学習の充実

(1) 情報提供や環境学習の充実に関する取り組み

①啓発活動の推進

今後の施策展開	あらゆる機会を通じて市民や事業者の理解と協力を得るための啓発の促進を図るとともに、必要な情報の提供を行っていく。「ごみ見聞録」や「夢ハウスだより」等の啓発紙についてはそれぞれの役割を見定めながら、さらに充実を図るよう努めていく。あわせて新たな情報の更新が容易なホームページの活用、充実を更に図っていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを積極的に活用し、随時、最新情報を提供した。 ・廃棄物減量等推進員、美住リサイクルショップ運営委員、東村山花と野菜の会等からの協力を得ながら、各種啓発の取り組みを進めた。 ・内容の見直しを図りながら、「ごみ見聞録」「夢ハウスだより」「ごみ資源収集カレンダー」「ごみ分別アプリ」での情報提供及び啓発を行った。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

②講座・学習・イベントの推進

今後の施策展開	店頭や自治会等への出前講座を市民と直接的な対話の場として、積極的に実施していく。また、家庭での分別の重要性や処理の流れなどの市民理解を深める場として施設見学会を継続して実施していく。さらに、各種イベント等の機会をみつけて、これらに積極的に参加し、啓発活動に努めていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夢ハウスまつり、リサイクルフェア、市民産業まつり等の各種イベントに参加し、情報提供や啓発を行った。 ・スーパーマーケットでの店頭説明会や自治会や公共施設等での出前講座を実施し啓発を行った。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
出前講座開催回数	48回	48回	100.0%	50回

③集合住宅の排出指導強化

今後の施策展開	一部の集合住宅の集積所の中には、分別ルールや収集日を守らないごみが出されるケースが目立つことから、これらの集合住宅の管理人、オーナー、入居者に対して、ルール徹底の指導を強化していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進員及び収集委託事業者等と連携し、排出状況が適切でない集合住宅の情報収集を行い、管理会社等に対して排出指導を行った。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
排出指導実施回数	15回	16回	106.7%	15回

④学校への出前授業等の実施

今後の施策展開	<p>学校での出前授業等を実施することで、次世代を担う児童・生徒が資源化やルールに関する意識や理解を高めていけるように、教育委員会・学校との連携を図っていく。ひいては、児童、生徒の意識の高まりを通じて、家庭での意識改革に繋がられるよう努めていく。</p>			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前授業実施に向けた働きかけを行った。 ・ 使用済小型家電回収事業の内容を取り入れる等、教材や授業内容の充実を図った。 ・ ホームページで、出前授業の内容について情報提供を行った。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
出前授業実施校数	20 校	16 校	80.0%	22 校

基本方針5 市民・事業者との協働

(1) 市民・事業者との協働に関する取り組み

① 廃棄物減量等推進員の活動推進

今後の施策展開	53丁に配置されている廃棄物減量等推進員と市との意思疎通や連携を強化するとともに、研修会などを通じ、推進員相互の協働を促していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙古着の分別方法やリサイクルプロセス等についての研修を行った。 ・柳泉園組合の視察研修を実施した。 ・リサイクルフェア、市民産業まつりへの参加を呼びかけ、推進員と協働で啓発を行った。 ・推進員の活動内容について、平成31年3月発行予定の啓発紙「ごみ見聞録」に掲載した。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

② 市民組織への支援と協働及び連携の推進

今後の施策展開	既存の市民組織への情報提供や技術支援等をさらに進めるとともに、市民組織と行政が企画立案の段階から協議を行い、活発な事業展開を推進していく。さらに活動団体どうしの連携を促進していく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の運営委員会や会議に参加し、情報の共有化を図るとともに、イベントを協働で実施した。 ・実行委員会を中心として協働・連携を図りながら取り組みを進め、リサイクルフェアを実施した。 ・夢ハウスまつりや市民産業まつり等の各種イベントに各団体と連携して参加し、啓発を行った。 			
数値目標	平成30年度 目標数値	平成30年度 実績数値	平成30年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

③市民・事業者との協働の推進

今後の施策展開	市民・事業者との協働に心がけながら、各分野における施策の推進を図っていく。			
主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市報、啓発紙、ホームページを通じて、秋水園の事業計画や施策などについて情報提供を行った。 ・市民、事業者への丁寧な説明を心掛け、理解と協力を求めながら各施策を進めた。 			
数値目標	平成 30 年度 目標数値	平成 30 年度 実績数値	平成 30 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画
平成 30 年度実績報告書

令和元年 7 月発行

発行：東村山市資源循環部
〒189-8501 東京都東村山市本町 1 丁目 2 番地 3
TEL：042-393-5111(代) FAX：042-391-5847
(事務所：東村山市秋津町 4 丁目 17 番地 1)